

1.調査目的等

・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
 ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2.学校ごとの指標

【短期指標】

※国語(95) 算数(97)

3.指標に向けての取組

【学習の基盤づくり】

- 朝の学力補充における課題克服プリントの徹底、学期1回の漢字コンクールの実施
- 学力テストの過去問題の取組(専科入り込みによる複数体制)

【授業づくり】

- 算数科の重要単元における分割、習熟度別学習指導による個に応じた学習指導
- 書く力の育成(国語における目的・観点・方法を明確にした話し合い活動の充実との関連をもとに)

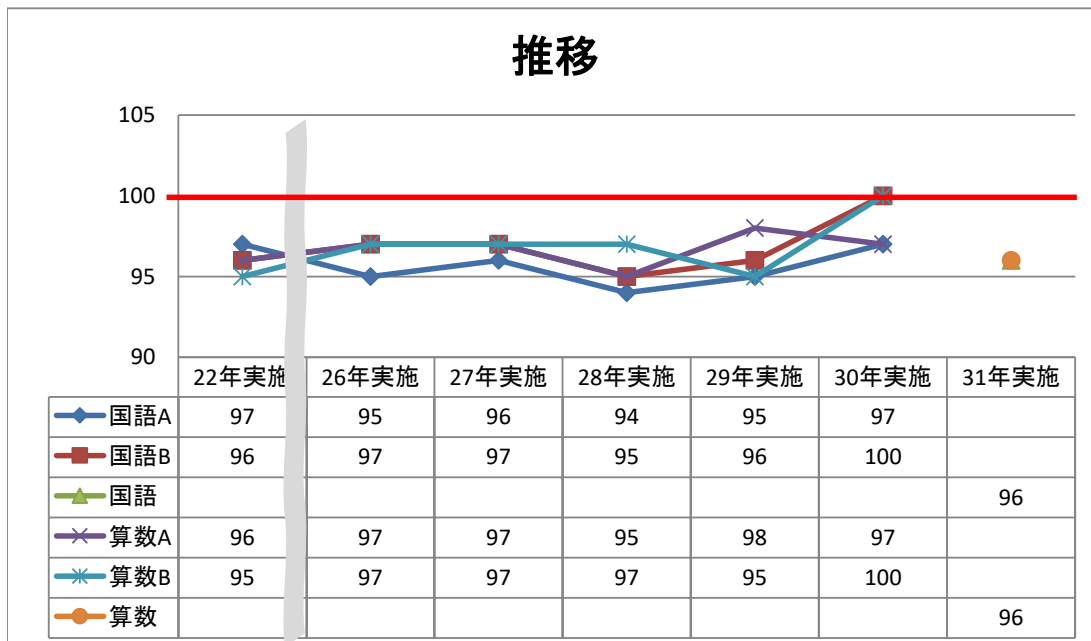
【家庭との連携】

- 家庭学習振り返り週間(学期1回)の充実

4.調査結果(全国の平均正答数を100としたときの文科省標準化得点)

	国語	算数
本校	96	96
嘉麻市	98	97
全国	100	100

推移



※ 平成31年度実施から「知識に関する問題(A問題)」と「活用に関する問題(B問題)」を一体的に問う形式に変更

5.各学校における分析

短期指標との比較では国語は1ポイント上回り、算数は1ポイント下回った。全国比においても、国語・算数ともに4ポイントの開きが生じている。

【要因】

①基礎・基本の徹底の不足

(国語:漢字の同音異義語、ことわざの活用、接続詞の使い方、算数:四則計算の順序やきまり、1単位量あたりの数の意味等)

②読解力と思考力・表現力の不足

(国語:目的や意図に応じて自分の考えを条件に沿った書き方、算数:グラフの特徴や傾向を読み取り表現する力、場面の状況による単位量あたりの数の求め方等)

③家庭学習時間や宿題・自学内容の個別支援の不足

6.各学校における今後の取組

【学習の基盤づくり】

○個別の課題克服問題(アシストシート、フォローアップシート)の徹底、全漢字ドリル活用による反復練習、学期1回の漢字コンクール、年間1回の漢字検定

○学カテストの過去問の取組(専科入り込み複数体制)

【授業づくり】

○算数科の重要單元における分割、習熟度別学習指導による個に応じた授業

○書く力の育成(算数:図や式、表などを用いて自分の考えをまとめる学習)

【家庭との連携】

○家庭学習振り返り週間(学期1回)における目標時間の徹底、週末課題における国語、算数の発展問題の実施

※ 全国学カテストの国語(言語)・算数(除法計算)の課題から学年の系統性をもとにした取組を行い、学力向上委員会や学年会で継続的に振り返り、改善を行う。

7.嘉麻市教育委員会としての今後の取組

各学校が自校の課題を明確にするとともに、嘉麻市アクションプラン、嘉麻市学力向上全体構想をもとにした学力向上策を浸透・徹底させていくために、次の7点を中心に取組を進める。

○学力向上プランを各教室に浸透・徹底させるためのPDCAサイクルについて指導助言を行う。

○学力向上を図る上で効果のあった取組について共有化を図る研修を企画・運営する。

○基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図ることができるよう、指導と評価の一体化を図る即時評価の取組を奨励したり単元終末段階における習熟度別学習の取組を支援したりする。

○校内研修や学校訪問において、思考力を発揮させ最善解を導き出す「かく力」を育成するための指導助言を行う。

○学力向上に向けた取組が組織的・計画的に実施できるための指導助言を行う。

○家庭学習の習慣化、個別化に向けた取組についての指導助言や支援を行う。

○主幹教諭研修会において、それぞれの学校種の課題に即応する研修内容を工夫する。